

住民自治協議会だより

第11号

発行：小田切地区住民自治協議会

住民自治協議会総会開催される

去る4月25日、小田切地区住民自治協議会総会が開催された。

評議員31名、委任状5名と来賓他総勢43名の出席があり、総会議長に松本良一さんが選任された。

住自協会則の改正があり、今総会より議事録を残す事になった。

25年度決算、26年度事業計画及び予算が原案通り承認された。

また選考委員による役員選考がされ、満場一致で承認され、26年度事業がスタートする運びとなりました。



会長就任にあたり

住自協会長 宮尾 忠二

去る4月25日の総会で会長に推挙され大任を受けることになりました。後期高齢者に近く、物事を忘れる

事が多くなるものが会長になるとは思いもしませんでした。

もとより浅学非才で重責を担うような器ではありませんが、受けたからには微力ではありますが、役員の方々に応援をいただき、頑張らなければと痛感しておる次第であります。

少子高齢化、過疎化が進み限界集落も年々増えている当地域、どう取り組めばよいのか大きな課題であります。

先輩の皆さんが努力をし築いてきた小田切、皆で協力し合い活性化を図り、希望が持てここで住んで居たいと思えるような地域にしたいものです。

当小田切地区の平成26年度一般会計予算は815万円で、内訳は予算書をご覧ください。大きな予算を有効的に、大切にに使わせてもらう責任を痛感しております。

過日国会で「山の日」という国民の祝日ができ、2年後から施行されるようになりました。山に親しみ、山の恩恵に感謝する日というそうですが、長野市も面積の7割が中山間地であるので、山の活用を何とか考えなければと思います。よろしくお願いいたします。



支所長着任にあたり

小田切支所長 市川 隆道

4月1日付の人事異動で小田切支所長に着任いたしました。貴重な紙面をお借りして所感を述べさせていただきます。

た。

支所勤務は初めてとなる私ですが、支所の同じ事務室でチームワークの良い住民自治協議会の皆さんたちと一緒に仕事をさせていただけることに大きな喜びを感じております。市役所の一般的な部署では味わえない新鮮な気持ちで日々を過ごさせていただいていることに感謝したいと思います。

さて、小田切地区の住自協の活動も、6年目がスタートしております。準備期間を含め活動開始から今日までの役員さんをはじめ関係の皆さんのご協力と住民の皆さんのご協力のおかげをもちまして活動は順調に軌道に乗ってきているというふうに感じております。

小田切地区には担い手不足や有害鳥獣など様々な課題がありますが、中山間地域においては、どこの地区も同様の悩みを抱えているのだと思います。

困難な課題に取り組むことはもちろん重要ですが、あわせて、小田切ならではの有形無形の財産を将来に承継していくことを考えていきたいですね。

通勤途上で遠望する北アルプスの絶景に深い感動を覚えながら、小田切への思いを新たにしている日々です。どうぞよろしくお願いいたします。

各部会の26年度活動方針



暮らしやすい安心な 地域を目指して

総務・安全防災部会副部長
塩入 孝男

人口減少が進む中、高齢化率が一段と高まっておりますが、「小田切を元気に」していく地域づくりに向けて活動してまいります。

(1) 定例区長会の開催

市と住自協が連携して進める事務・事業の推進を図ります。

(2) 住自協だよりの発行

広報誌を年2回発行し、地域の活動をお伝えします(6月、3月)。

(3) 防災訓練の実施

安全安心な生活を支えるため、防災訓練を11月に予定します。

(4) やまざと支援交付金事業の実施

生活道路の維持活動や福祉自動車運行等に支援して行きます。

(5) 期日前投票支援事業の実施

予定されている公職選挙を支援します。

(6) 観光施設の整備

観光委員会の事業を引き継ぎ、地域振興対策に努めます。

(7) 他の部会に属さない事象への対応

他地区との交流会や防犯灯の更新等を進めます。

共に支え合える 地域づくりを目指して

福祉・健康部会長 松本 清子

自然豊かな私たちの故郷小田切が、「誰もが自分らしくそして共に支えあえる地域づくり」を目指して、今年1年、次の4点を中心に活動してまいります。ご協力をお願いいたします。

(1) 小田切地区地域福祉活動計画の実践

平成22年に地域福祉活動の指針として制定された「地域福祉活動計画」が昨年度見直されました。問題点と課題もありますが、成果もありました。雪かき・ゴミ出し・家事援助などの地域助け合い事業、お茶のみサロン・趣味や伝統行事など交流事業への参加と協力等は、より一層進めたいところです。またボランティアバンクの設置を進め、地区で身近な課題を話し合う場(住民生活会議)を実施できるよう進めてまい

りたいと思います。

(2) 福祉委員会による各種事業の計画と実施

今年度は、委員が新任となりましたので、先ず福祉委員は、どのような役目があり、どう活動したら良いのかという研修会を行います。7月にひとり暮らし高齢者の集い、10月頃男性の料理教室、3月に喜寿の会を行います。

(3) 地区健康保健活動の実施

保健補導委員会が中心となり、健康食の講習会と個別相談会・地区健康相談会(血圧測定会)、そして小田切の里健康踊りのDVDを作成し、地区の皆様が元気で踊りに親しめるようにしてまいります。

(4) 新生児お祝い金制度の実施

赤ちゃんの誕生を地区のみんなで祝い、地区の子どもたちをみんなで大事にしていきたいと思っております。地区にお住まいの方に、赤ちゃんが生れると、5,000円のお祝い金を贈ります。



環境・地域活性化部会の方針

環境・地域活性化部会長
上野 修

(1) 環境整備・美化活動の推進

春秋の2回をゴミゼロ運動の日と定め、区内の道路や公共施設の一斉清掃を行います。年間を通して不法投棄の情報提供を随時行い、ゴミゼロ目標を目指し、美しい地域づくりに努めます。

(2) 農作物の有害鳥獣対策

何時になったら農作物を、安心して作る事が出来るのか。捕まえても減らない、イノシシや、シカ等。前年同様、電気柵、捕獲檻の購入計画の推進。電気柵の設置から農作物を守り、一頭でも多く捕獲が出来ればと思います。

(3) 遊休農地の活用対策

昨年まで耕作放棄地を復元し、「小田切うんめえ塾」として、そば、枝豆、野沢菜等、市街地の塾生の皆さんと農作業をやってきました。

今年度は、NPO法人小田切オアシスが開設した市民菜園がオープンし、4月27日に開園式を行いました。

遊休農地後地に、5年前に植えたワラビも、今年は大分採れるようになりました。

今年も、5アールの復元土地に、6月に枝豆を蒔き収穫後、後作に野沢菜を蒔き、11月下旬頃にツアーの計画をしています。



**皆で参加し
活力ある地域づくりへ**

教育・文化部長 池田 光揮

教育・文化部会の今年度事業計画は、次の様に具体的方針が決定となりました。

- (1) 市立公民館・地域公民館連携による事業の推進
 - ①万歳学級やふるさと学級による生涯学習の推進
 - ②各種スポーツイベント開催を通して、健康維持増進や地域・世代間交流を図る
 - ③団体・サークル活動や地域公民館事業への支援

- (2) 青少年子ども育成活動を通じた次世代の育成
- (3) 明るく心豊かな地域社会に根差した人権啓発活動の推進

①明るい社会運動を進める住民集会の実施

②人権教育講座による啓発活動の推進

- (4) 文化財の保存、継承活動の支援

当部会は、小田切公民館はじめ関わりのある関係団体と協調・連携を図りながら「小田切を元気に！」をモットーに、役員一同地区の皆様と取り組んでまいりたいと思っております。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成26年度小田切地区住民自治協議会収支予算書

収入 主なもの

<公的補助>	6,027千円
・地域いきいき運営交付金	3,559千円
・補助金・助成金	2,470千円
事務局長設置費、地域福祉推進事業、福祉のまちづくり実践事業、わくわく体験、住民自治活動保険料、社会を明るくする運動	
<地区負担金>	1,205千円
11地区 426世帯	
<雑収入・繰越金>	918千円
合計	8,150千円

支出 主なもの

<総務・安全防災部会>	475千円
・会議費	245千円
・広報紙発行費	70千円
・防災費	50千円
・観光施設整備費	50千円
・期日前投票支援事業委託費	30千円
・防犯協会補助金	20千円
・その他	10千円
<福祉・健康部会>	2,118千円
・地域福祉ワーカー設置費	1,080千円
・福祉委員会事業費	770千円
おしゃべりサロン・喜寿祝賀会、一人暮らし高齢者の集い・研修費他	
・保健補導員会事業費	158千円
・社会を明るくする運動活動費	20千円
・その他	90千円
<環境・地域活性化部会>	192千円
・環美連事業費	102千円
・有害鳥獣対策事業費	80千円
・遊休農地活性化対策	10千円

<教育・文化部会>

1,481千円

・地公連事業費	1,223千円
・青少年子ども育成事業費	118千円
・人権教育事業費	140千円

<事務局費>

3,218千円

・人件費	2,485千円
・役員活動費	93千円
・備品・消耗品・通信費	370千円
・住民自治活動保険料	65千円
・使用料・その他	205千円

<配分・委託料・補助金>

288千円

<繰出金>

115千円

・福祉自動車特別会計に支出	115千円
---------------	-------

<積立金>

60千円

歴史民俗資料室カーテン

<予備費>

203千円

合計 8,150千円

(福祉自動車特別会計)

(収入)

1,080千円 (内住自協からの繰入金 115千円)

(支出)

140千円 (事務費関係)	380千円 (燃料費)
110千円 (保険料)	130千円 (予備費)
320千円 (車輛管理費)	

(やまざと支援交付金事業特別会計)

(収入)

1,806千円 (やまざと支援交付金)

(支出)

800千円 (雇用費) 地域活性化推進員 2名分	
660千円 (報償費) 生活支援員活動費、	
運転協力員活動費他	
346千円 (賃借料) 軽ワゴンリース代他	

来る 市長小田切地区訪問

去る5月2日(金)加藤市長は小田切支所、住民自治協議会を訪ねられました。

昨年10月の選挙で初当選した新市長は「中山間地の活性化なしでは市の発展なし」として、中山間地13地区の訪問を優先課題として市政に着手した。

訪問当日は支所内を見分した後、市民菜園「小田切オアシス」を見学され、酒井昌之理事長の説明を聞き、芽を出し始めたアクなしワラビに興味を示された。



お知らせ

「生き生き小田切 みんなでトーク」 開催について

昨年までは「元気なまちづくり市民会議」の名称で開催されてきました。

加藤新市長になり「生き生き〇〇みんなでトーク」に変わりました。

小田切住民自治協議会では、実のある意見交換の場にする為に、実現性に富み具体的な地区テーマを模索しています。

地区住民の皆さんには当日大勢のご参加をお願いすると共に“これぞ”と思われるご意見をお持ちの方は、6月中に住自協事務局までお寄せ下さい。

市長や部長と身近に意見交換できる機会ですので、大勢の皆様のご参加をお願いいたします。

開催日時 9月20日(土) 午後2時から

開催場所 小田切農村環境改善センター

会議形態は議題提案回答方式で進めますが、提案・要望を各部会で取り纏めますので、部会長または事務局までお申し出下さい。

ひとり暮らし高齢者の集い開催

来る7月1日(火)に稲荷山温泉杏泉閣にて、ひとり暮らし高齢者の集いを開催します。今年の該当者は65名。大勢のご参加をお待ちしています。

新生児祝い金制度創設

小田切地区の人口は激減しています。(表1)

この傾向が続けば来年度、平成27年には1,000人の大台を割り込むことが確実の情勢です。

65才以上の高齢化率も確実に上昇しています。

市内32地区の中で、大岡地区が61.4%、鬼無里地区60.9%、以下中条、七二会、信更、信州新町、次に小田切と続き7番目です。

地区にはしばらくの間、新生児の誕生がありませんでしたが、昨年4月より今年5月現在、男児3名、女児2名の0才児が誕生した。

地区人口が減り続けている中、大変うれしい話題です。

住民自治協議会では、平成26年度新規事業として新生児祝い金制度を創設した。

地区に6ヶ月以上住民登録のある新生児に対し、祝い金を贈ることにした。

祝い金の額は1児5,000円で、希望するご家庭です。

小田切地区人口推移(4月1日現在) (表1)

年	住人数	年	住人数
昭和23年	2,981人	平成15年	1,424人
昭 61	1,870	平 20	1,272
平成 1	1,860	平 25	1,063
平 5	1,693	平 26	1,042
平 10	1,557		

年代別 人口構成 (平成26年4月30日現在)

歳	男性	女性	合計	構成率 %
0~1	3	2	5	0.5
10~14	23	10	33	3.2
15~64	297	255	552	53.2
65~	206	241	447	43.1
総計	529	508	1,037	100.0

今年の百歳と米寿

長野市恒例の敬老の日に併せて、100歳と米寿を迎える人に祝い状と記念品が贈られます。

今年の小田切地区では100歳の人はいませんが、米寿の該当者は12名です。

敬老の日までに地区民生児童委員により届けられます。

支所長権限の50万円活用について

皆さんのアイディア実現を補助金で後押しします。日ごろ、地域で不便を感じていたり、もっと便利になるのに、とか思っているアイディアを実現しませんか。

また、環境を良くしたり、人との交流を活発にしたり、地域の名物づくり、などのアイディアはありませんか。

今年度、小田切地区内で地域のために何かをやってみよう、という団体・グループを対象に、最大50万円の補助金をお支払いします。

事業の選定は、支所長や小田切地区内の選考委員によって行います。

選考によって、10万円が5件ということもあれば、50万円が1件ということもあります。

締め切りは6月30日、地域への貢献度とアイディア勝負です。

詳しくは小田切支所へお問い合わせください。

地域活性化推進員活動報告

やまざと支援交付金は中山間地特有の問題に対する市民活動を円滑に行う為の交付金です。その交付金で実施する生活支援事業は主に道路側溝清掃・草刈・除雪と凍結剤散布を対象に交付しています。各区4万円を割当て総額44万円です。中山間地13地区の中では下から3番目の予算規模です（H25年度実績）。

買物支援事業は3年目を迎えました。利用者は3世帯です（会員6世帯）。約週1回の出勤で昨年は58回の利用が有りました。

利用料は100円です。買物に不自由な方はご利用下さい。

平成25年度 買物支援の活動実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	2	4	6	5	3	6	5	6	3	3	2	3	48
件数	2	4	8	5	6	6	5	6	4	6	3	3	58

おしゃべりサロンを訪ねて

中組おしゃべりサロン

中組おしゃべりサロンは、平成22年に女性部の担当でスタートしました。女性部の代表者がおしゃべりサロンの代表を兼ね、1年交代です。最初の頃は、年間6回ほどの開催でしたが、開催回数は徐々に多くなり、今年度は、10回開催する予定です。参加者は、女性がほとんどで、10人ほど集まります。男性も時には、参加していただくと楽しいなあと思います。

おしゃべりしながら、この4年間いろいろやってきました。栗拾いツアー等もありましたが、大変で1回でやめました。好評でずっと続いている活動もあります。苔玉づくりとか春の花の寄せ植えとかリース作り等です。苔玉づくりは、自分の周りにある草木や花や苔を集めることから始まります。苔玉に適当なのはなにかしらと自分の周りにある草木を探したり、各人が



持ってきた物を交換したり頂いたりして作った苔玉は、次の年まで楽しめます。

昨年度から健康づくりのために、毎回「太極拳」の練習をしています。太極拳の練習の後、お茶を飲みながらおしゃべりをします。今年度も太極拳を毎回行いますが、難しくて頭の体操をしているようです。



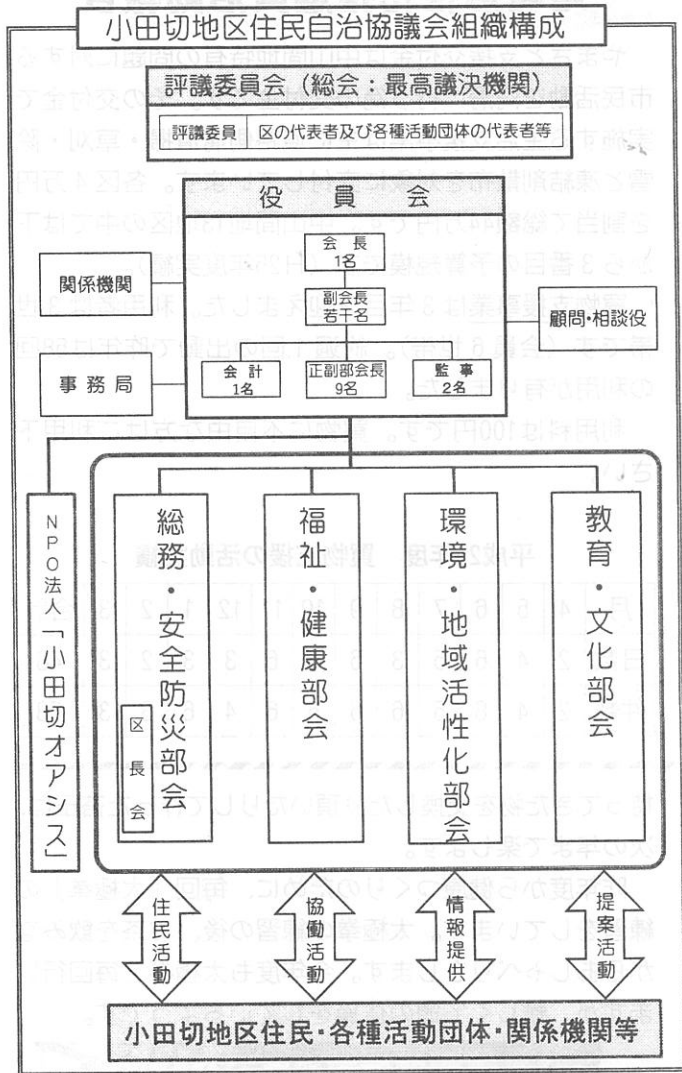
今年度の計画は、4月お花見会食・5月介護予防教室（お口の健康から介護予防をしよう）・6月苔玉づくり・7月小田切探訪（ふるさとセンターでお昼・昨年は小野平探訪でした）・8月介護予防教室（お薬との上手なお付き合いの仕方）・10月介護予防教室（介護保険のサービスと高齢者の方の多様な住まい）・11月寄せ植えづくり・12月リースづくり・1月・2月お茶を飲んでおしゃべりというような計画です。介護予防教室は、安茂里包括支援センターから講師の方が来てお話をさせていただきます。5月のお話も好評でした。これからも楽しく元気に和やかにやっていけたらと思っています。

平成26年度役員 (敬称略)

会 長	宮 尾 忠 二
副 会 長	塩 入 孝 男
	松 本 清 子
	上 野 修
	池 田 光 揮
会 計	青 木 進
総務・安全防災部会長	宮 尾 忠 二
総務・安全防災副部会長	塩 入 孝 男
	竹 内 重 雄
福祉・健康部会長	松 本 清 子
福祉・健康副部会長	宮 尾 伊代子
環境・地域活性化部会長	上 野 修
環境・地域活性化副部会長	宮 尾 壽
教育・文化部会長	池 田 光 揮
教育・文化副部会長	海 沼 一 夫
監 事	和 田 義 雄
監 事	北 沢 栄 樹

事 務 局

事務局 長	山 上 健 一
事務局 員	岩 佐 由 紀 子
地域活性化推進員	岡 沢 芳 文
地域活性化推進員	長 田 正 彦
地域福祉ワーカー	西 山 一 二 美
福祉コーディネーター	山 口 明 子



NPO法人小田切オアシスが運営する市民菜園は、4月27日にオープンしました。19区画が貸し出され、利用者の皆さんは、好きな野菜を楽しんで作っています。

NPO法人・小田切オアシス市民菜園開園式 平成26年4月27日